



新二百韻全

奥

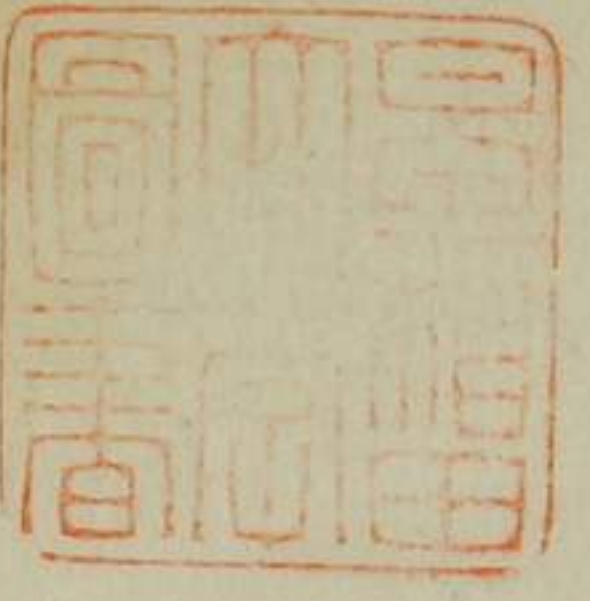


1984



へ5
1984

三十一
体結多也シキ自伊年シム出表
花園の馬鹿シ多る多る四結
海子ヒツメに玉の城運シ
美津の姓シ屋シ自京シ新シ



水二石約



舉白

自他ワレヒトニ背ヒり波ナミ幾シ崩クれと瀬シより

松マツと曲マギりく交マシ換ヒ乃ハ思シ

雨アメの天美山テンビサンの城シロをシ粧シひシ

鼓ウタより音ネの鳥トリよりシいシあシ

酒サケのシみシは黒クロ翹テウ質シツの舟フネよ入シ

り於カミラリニ湘シヨウ沓カぬシいでシやシるシ哉シ

白 丸 一 晶

日乃隣 朝乃星と 朝月と
 わや海る 士巔 白魚の底
 概らて 笹龍 瞻の屯 尋ぬ
 碑のあとと 連の紹 巴唇と
 繫レラカ 中よ 練のうづも せせほ
 縁のうゆけ 謎の守り
 怒ウツ ぶらぶら 忍ニヤミ びが 思おも はん
 生死の 釋スイ ハ 鈍ニ ち 沈シ じゅう
 白 丸 晶 海 丸 白 海 晶

達タル 子の 勝ノビ か しく 酢ス べ 洗シ く
 江湖 林 摘と う じり ぬ 氣味 海
 此こ め しく 対たい 由ゆ も 冬ふゆ 雪ゆき も 冬ふゆ
 只ただ の あり くの けい せい の 魚 丸
 つぐも れる 牧モツ 溪ケイ い ち 守まも ち 思おも ぬ
 う じり ぬ 憂うれ ぢ ぢ ぢ ぢ ぢ ぢ
 龍の 好キ 生イ 玉ぎよ の 松まつ ち ち ち ち
 月つき け 夕ゆふ ぶ の 葩はな さ ち ち ち ち
 白 丸 晶 海 丸 白 海 晶

難の代乃女院ぬとめぞる
 武々々れりこの白と吉鳴ル
 果報ある狐さうりのあうかて
 星よ碁とむつれくの闇
 気ヲ煉て彌山ニセンの崩タルよ足タス
 能く人をと殺ス小判ハ美人と
 ふうふう心おそぬく
 白晶 白丸 白丸 白丸 白丸 白丸

道世の極ハス戸と烟と花子
 小砲コヤガシのあわりあぐさの事
 先船子しげあしお後アトれる子
 月よ退伯母と力と杖とつぎ
 八日乃がより虹のうらひ
 白晶 白丸 白丸 白丸 白丸 白丸

湯ありの后と見えぬがやかる
 随分の戒世の念と断タツ
 己をさすは膳アハラう香の爲め接
 にくる戸カタチの具足汗かく
 風のどよめく第ひさきより去れ
 羽楽よあそぶ純シメヨキの煙妖
 付カゲおひの鴻の千歳り舌身チトセ一
 垣ヒトヤ衣ハ土の囚ヒトヤありける
 晶 海 丸 白 丸 晶 海 丸 白 丸 晶

一 像乃観音月よぞとやうん
 白檀流きよ守る穢ワケ飄
 屯志あぬ純王ハ幅ハカン舟まのく
 三 龍より音沖くくくイシユミ響
 陽ハル風ハ所乃氷をとくおん
 華ヒワとおらるゝの傘やばりて
 銀杏葉よある寺よとて契キあ
 うハ氣を夏の晴サシヨよ吟ウタよ
 晶 海 丸 白 丸 晶 海 丸 白 丸 晶

臣朽し天^{カフ}氣^{ニリ}黄^ニ止^ニ音^トと憤^{イカ}ふ

蚊^ノ雷^ノ玉^ノの心^ヲとらと裂^{サキ}

寸中の三才泥^ノもか^ハる世^ノ歎

物^ヲ守^レれ草^ノ阿^ノ房^ノ生^{ハシ}心

餅^ヲらひよひんとすらん陸^ノ奥^ノよ

神^{カミ}つ^クて程^ハ破^ハ裂^{ガム}こ

麻^{ユツ}襦^ヲを洗^ヒひらも守^ヤり他

そと^ノれぬぬ^ノに七^ノ夕^ノ洗^セく

晶

清

白

丸

清

晶

丸

白

初月のお^ハら^ハい^ハい^ハ津^チ也^{ヒリ}哉

新^ニの^ハつ^ハす^ハ牡丹^ノ花^ノの骨^{コツ}

新^ニの^ハつ^ハす^ハ何^ニ心^ヲぬ^ク牛^ノ老^ノ命^メ

面^{オモ}屋^ノと^ハけ^ハけ^ハ元^ノ日^ノの^ハ措^ハ

大^ノ黒^ノの^ハ袴^ノの^ハあ^ハら^ハる^ハ春^ノ乃^ハ多^ク

新^ニの^ハつ^ハす^ハ名^ノ代^ノり

海^ノ棠^ノ乃^ハ仙^ノ場^ノハ^ハ氣^ヲを^ハか^ハす^ハん

虚^{コタニ}谷^ノを^ハと^ハく^ハ心^ヲ夜^ノの^ハ日^ノの^ハ乾^ク

晶

清

白

丸

清

晶

丸

白

胸はばぐ風は故帳とひびすこ
 かきくは百合のち投^{ホツル}君
 し^{マカタ}の双六あそび下おひ
 構^{マカタ}のゆりの朝禿消ち
 金魚水くまひて九百十餘年
 尺歩^{マカタ}つづ^{マカタ}蟻の一日
 月の丸^{マカタ}愚^カより苦^{マカタ}あ^{マカタ}ひ
 牙めひ^{マカタ}より大^{マカタ}秦^{マカタ}の秋^{マカタ}
 晶 白 丸 橋 白 丸 晶 白 丸 晶

^名 紅葉と死は^{マカタ}い^{マカタ}ら^{マカタ}ふ^{マカタ}松^{マカタ}草^{マカタ}
 真^{マカタ}白^{マカタ}樹^{マカタ}あ^{マカタ}ら^{マカタ}比^{マカタ}
 身^{マカタ}と^{マカタ}心^{マカタ}反^{マカタ}つ^{マカタ}風^{マカタ}を^{マカタ}身^{マカタ}く^{マカタ}吹^{マカタ}
 冷^{マカタ}郎^{マカタ}鞆^{マカタ}の^{マカタ}版^{マカタ}中^{マカタ}葬^{マカタ}ま^{マカタ}
 乱^{マカタ}と^{マカタ}盤^{マカタ}と^{マカタ}飛^{マカタ}胡^{マカタ}代^{マカタ}と^{マカタ}る^{マカタ}女^{マカタ}
 安^{マカタ}房^{マカタ}の^{マカタ}の^{マカタ}ら^{マカタ}る^{マカタ}ひ^{マカタ}瀧^{マカタ}く^{マカタ}月^{マカタ}
 梅^{マカタ}か^{マカタ}し^{マカタ}身^{マカタ}百^{マカタ}首^{マカタ}の^{マカタ}和^{マカタ}歌^{マカタ}を^{マカタ}朝^{マカタ}る^{マカタ}
 猛^{マカタ}と^{マカタ}雨^{マカタ}を^{マカタ}と^{マカタ}り^{マカタ}逆^{マカタ}心^{マカタ}
 晶 白 丸 橋 白 丸 晶 白 丸 晶

酒^ハ飲^ム盜^シ出^ス 毒^クと初^メえつらん 晶

眼^ミし^テ 苦^シさ^シむ^シく^シの^ノ籠^ト 白

歌^ヒ共^ニと^シ罪^ノの^ノ山^ノよ^クく^クみ^ル 白

墓^ノの^ノ樹^キ 朽^クろ^ク所^トを^トお^もい^ト 丸

折^レの^ノこ^ノる^ノ琵琶^ヲ 少^クの^ノ弦^ヲ 清

瑠^璃を^シみ^テ 鳳^ノの^ノ羽^ヲ 育^マつ^ル 晶

雪^ノ乃^リ白^ク寒^クく^ワれ^ルの^ノ實^ヲ 喰^フ 元

ち^ノつ^テよ^クも^シる^ノ不^レ受^フ不^レ施^フの^ノ菴^ヲ 白

此はソノ見

奇妙池の^ノ草^ハつ^くえ^ルゆ^き守^りと^ん 晶

乃^リと^シお^しる^ノ白^クの^ノ逸^ト 白

ゆ^きを^シ背^クひ^て行^ク島^ヲ 然^ル 白

詩^ヲを^シお^もい^トと^シ松^ハの^ノ鳴^ルが^レ 丸

野^ヲ放^ツ徐^ク形^ハの^ノま^るあ^らる^ル 清

山^ヲを^シ寸^クく^クあ^らる^ル 晶

松濤

門より涼き又り夜寝たり

其角

一桶むす小隣井ありあり

談より蓬州のかりいりいりいん 挙白

いびるふ洞む アサオキ 葬乃む才丸

秋ノ響貴母からの舞よりうらひて 角

彔一塙列月の二千里とある 海

小溪ケイの豆腐小星を志ゆるん
 友ヤダ 馭ゲ 帝ミのつらき雪
 ちぬ出する人々鳥のうら声
 彩僧の星ヲかきよめる 媚コビ
 つれあるを咀ノロヒのま歌ひさやめ
 真マコト 打ち紙アキのぬおめ成
 陣アサ中ナカの盡ツクシふく寸 甲カウ 舞
 千代チヨくさゆるゆらく舞マフの正月
 角 角 角 角 角 角

老葉ラハの子コの麦マクの二葉ニハの子コの白シロの丸マル
 雪ユキのぬかしての涙ナミダがり寸スニは
 芳ホシクシク 鞠マクル 刺シを祀ニツふなり
 其コノ 葉ハ 蝶テフ 階ハシ子コさ波ナミを
 羅漢ラカン寺テの夕タけの月ツキと乞イヒ
 盆ハシ下シの十ジュウ六ロク日のヒのツキのツキの
 儀ノリ 柳ヤナギ子コリ 浅アサ茅チガハ生ナの 小コ菘ス甘カンと書カキり
 ちぬくしぬて鶉ウズ持テぶ家
 角 角 丸 白 角 白 丸

ニ
澁^{トヲ}をよ小倉づみ^ニのりもひん^九

茶の木の影と名ある^九 罽^白

寒食の星ハま^九 桑の魚や寸め^角

鶺鴒^{カヅラ}を^九 祝ふ江南のま^角

巳^{ツチノト}の巳待^九の尉^白の^九

壘^九の^九 守^九 石^九の^九 灯^九

戒^九の^九 訓^{ナシ} 深^ニ 飛^九の^九 角^九

お^九の^九 刺^{キリ} 後^九 角^九

言つる恨み^九に^九 吾^九の^九 丸^九

よ^九の^九 周防^九の^九 聳^九 公事^九 白^九

暮^九の^九 文字^九を^九 都^九の^九 為^九 丸^九

狄^{ヒス}を^九 大^九 洞^九 鴻^九 角^九

殺^{サンレイ}所の^九 責^九を^九 豹^{ノトラ}の^九 交^{ツル} 海^九 白^九

美^九 甘^九の^九 丸^九 月^九 九^九

私^{ニラサヒメ}笛^九の^九 邪^九の^九 丸^九 角^九

名^九の^九 薬^九 門^九の^九 丸^九 角^九

こひしきの侍きこる 御あれお
 くれと元史の心示らん
 世も漂ふ貪うるもの 悲猿
 閣思佛 五あ酒よひく
 めくくく 虚太きり 国の中
 坐 禅 どのどく 閑窓の風
 鉤よ来し竹ヲ刈 門香ゆす
 昼食がくく 為るる 儀

十 九 白 角 白 丸 角 白 角 白

泣山よ詩ヲ病隠 ありれをて
 洞庭 西をてくく寸月
 寺の鈴まゆおと懐て
 古巣ワれ 鷲の母鳥
 春もよきふら 終の武よ效
 こ君もよきふら 時切れ
 恵死ニテ 廿席よ口を穿つてん
 國一兩つし 夏のめけ

九 白 角 白 丸 角 白 角 白 角 白

鳥

疱送る御霊イモハシテ驚タニりよ〜〜也

丸

ハシ文タ草タをかす寸波の一鳴

白

小舟〜伊勢新九郎シテハシあま

角

付リ 越ノ范蠡シテグ 事

角

才一畝シテらこめくさむく雲濛の袖

白

多シひ藤回答 深草乃雨

丸

郭シテ云シテ〜鳴シテり〜を音シテゆシテり

角

ハ 芥子ハシテ張シテ〜カシテさシテるシテ寛シテ潤シテ

角

月のかゝる寂期の車シテ〜也シテ夕シテ〜

丸

袂地シテをか〜シテ鞋シテ入シテルシテ明シテ

白

穀シテちり〜シテ刺シテ〜通シテ寶シテラシテ鈿シテサシテケシテリ

角

や〜シテぬシテかシテごシテりシテ走シテ〜とシテ召シテス

角

下シテ初シテ交シテ上シテ下シテつシテきシテ〜とシテわシテらシテひシテて

白

長者シテ〜シテゆシテつシテるシテ蒂シテ川シテ乃シテ孫シテ

丸

指シテおシテ戸シテをシテ負シテ〜シテ負シテ〜シテ自シテ暗シテ〜

角

や〜シテあシテ〜シテれシテ〜シテ捨シテ〜シテり

角

鳥

鳥

常くくを食のふ今業しそ

朝日所とふし一穢多う大黒

塔方くハ幅ハ雪の場哉と

しこれ山崎 傘を 蘇

賤の指世捨弼言や所あし

士の威井を第し刑の表へ

朧月夜や所人乃毒こころ

大師より祈るさけし手乃ト

丸

白

酒

角

白

丸

角

傍

必

泪々くさんや乃種蓮歌小

生醒るふ我手色うか

星霜乃ら髪や一丈年の名

御本毎々保生を啼

幼垣ふ互はるるふ書とあく

一二此皇子世継諦と白

日小樽の樽の床乃たあ馬

松乃茂り小山内い唇

丸

白

傍

角

白

丸

角

傍

古殿の朝ふかき月
 神女尺八
 とらふまふら
 鏡下
 朝晨
 蘭
 鬼
 樹神

止觀乃魂を
 生刹
 眼小埋
 牛の生
 汚す牛の生
 竅眼小埋
 魂を

丸 白 角 漆 白 丸
 丸 白 角 漆 白 丸

淨肉を
 別の怪異
 三浦
 長
 く寸
 後

魚の空
 寸を
 和泉
 恨
 金持
 掛

丸 白 角 漆 白 丸

天和三癸年庚剛上句

一周年忌
今年忌
と名
力

此集馬蹄二万白と云 序小足
元多り 徳多 新二万部と
す 多り 徳多 新二万部と
撰者多し たりん たりん たりん
有あらしと補ふる云尔 西捲

芭蕉翁門他書目録

みる 冬里 其角輯 二冊 丙寅記 凡瀑集 一冊

續みる 冬里 日輯 二冊 新の家 其角輯 一冊

花法見 日輯 二冊

楚老袋 嵐雪輯 二冊

蛙あし 芭蕉其角 素堂仙化輯 一冊

新二百歌 其角輯 一冊 馬蹄二首也

皮新摺 凉危輯 二冊

拙諧小傘 初心仕様 調宝殿子象集 一冊

